

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【公表番号】特表2016-523605(P2016-523605A)  
 【公表日】平成28年8月12日(2016.8.12)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-048  
 【出願番号】特願2016-516303(P2016-516303)  
 【国際特許分類】

A 6 1 G 5/06 (2006.01)

A 6 1 G 5/10 (2006.01)

B 6 2 D 57/032 (2006.01)

【F I】

A 6 1 G 5/06

A 6 1 G 5/10 7 0 1

B 6 2 D 57/032 P

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月16日(2017.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車椅子が縁石を乗り越えるのを補助する車椅子用縁石登りおよび縁石下りシステムにおいて、

前記システムを前記車椅子に固定する車椅子取付け機構と、

1対の前側腕であって、各前側腕が、車椅子の前方部を持ち上げるために前方および下方に伸長するまたは前方および下方に配置され、前記システムが配備されるとすぐに前記車椅子の前記前方部を下げるために元の状態に収縮するように構成されかつそのように制御することができる1対の前側腕と、

1対の後側腕であって、各後側腕が、車椅子の後方部を持ち上げるために前方および下方に伸長するまたは前方および下方に配置され、前記システムが配備されるとすぐに前記車椅子の前記後方部を下げるために元の状態に収縮するように構成されかつそのように制御することができる1対の後側腕と、

前記腕を伸長するまたは配置する、および収縮させるために、前記前側腕のそれぞれおよび前記後側腕のそれぞれと関連する腕伸長および収縮モータを有する腕伸長機構と、

各前側腕および各後側腕の前記自由端に配置される回転可能な持上げ腕用車輪と、

前記腕車輪の少なくとも1つと関連して、前記腕車輪の少なくとも1つを回転させるように構成される車輪モータと、

前記システムの動作を始動させて制御するように作られる動作制御ユニットと、

前記システムの動作中、前記車椅子の前記座を前記地面と実質的に水平な状態に確実に維持するために作動するように前記腕に連結される水平化機構とを備え、

このシステムが更に、前記前側腕および前記後側腕を収容するための一対の腕ハウジングを備え、

前記腕ハウジングならびに前記前側腕および前記後側腕は弓形であり、

前記腕伸長機構の各腕伸長および収縮モータは、関連する歯車を有し、

前記前側腕および前記後側腕のそれぞれは、それに対応する歯車に対応する歯状部また

は歯付きレールを有する、システム。

【請求項 2】

前記前側腕が、取付けロッドを利用して前記車椅子に取り付けられている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記水平化機構が、少なくとも 1 つの傾斜計センサを含む、請求項 1 に記載のシステム  
。